

■各ゾーンの状況(2/2)



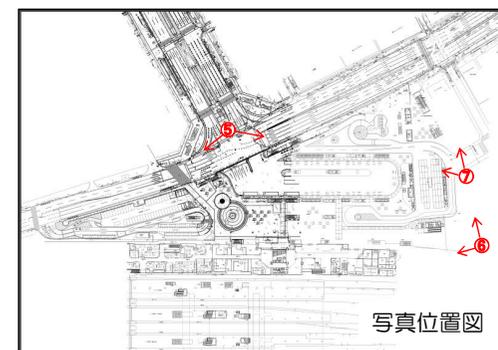
⑤公共交通乗換ゾーン



⑥公共交通乗換ゾーン



⑦修景ゾーン



写真位置図

2) 当時の整備コンセプト

【整備の経緯】

- 平成11年12月、東口駅前広場にバスターミナル、タクシー乗降場、一般車乗降場などが整備された。
- 平成20年 9月、一般車駐車場及び一般車乗降場が改築された。

【整備コンセプト】

- 3点の空間イメージを設定し、岡山の顔となる空間整備に取り組んだ。
 - ①潤いとやすらぎを感じることのできる空間
 - ②格調高い愛着もてるシンボリックな空間
 - ③伝統と現代感覚がバランスよく調和した空間

【施設デザイン】

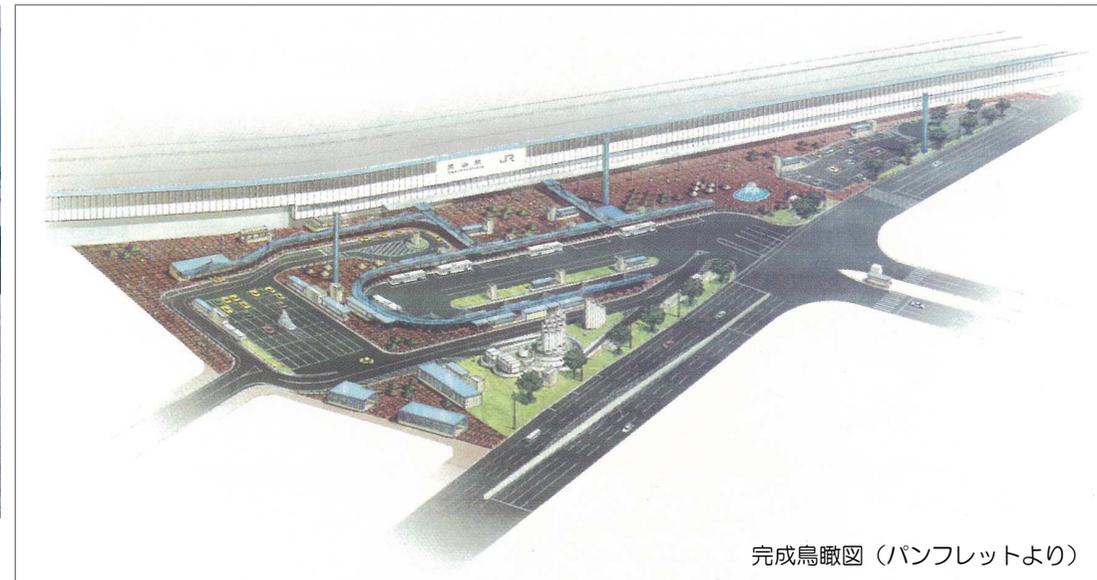
- タワー照明を駅前空間の核として位置づけ、「アイストップとして、桃太郎大通り、市役所筋から駅へのアプローチを象徴する」「岡山市及び中四国の表玄関という環境条件のなか、地域の特産物をデザインモチーフとして地域のアピールに貢献する」ことを目的としてデザインされている。
- シェルターについては、中四国の玄関口であることから、「瀬戸大橋」に因んだデザインとし、「晴れの国」を象徴する空色を採用している。
- 舗装は、岡山を代表する「備前焼」を思わせる色を採用し、地域になじみの深い色彩構成とすることで、岡山の顔となるイメージを創出。



タワー照明



シェルター



完成鳥瞰図（パンフレットより）

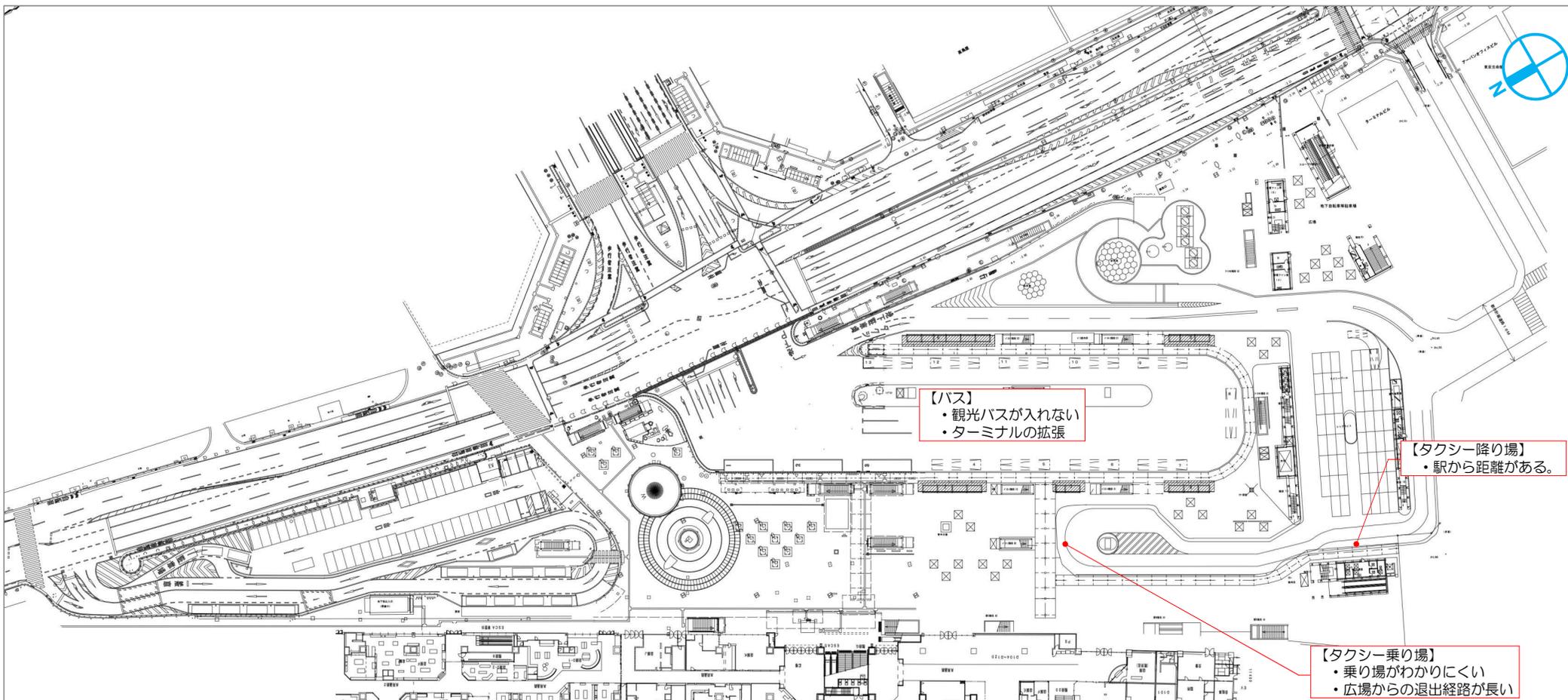
3) 現況の駅前広場に対する要望

》バス協会からの要望

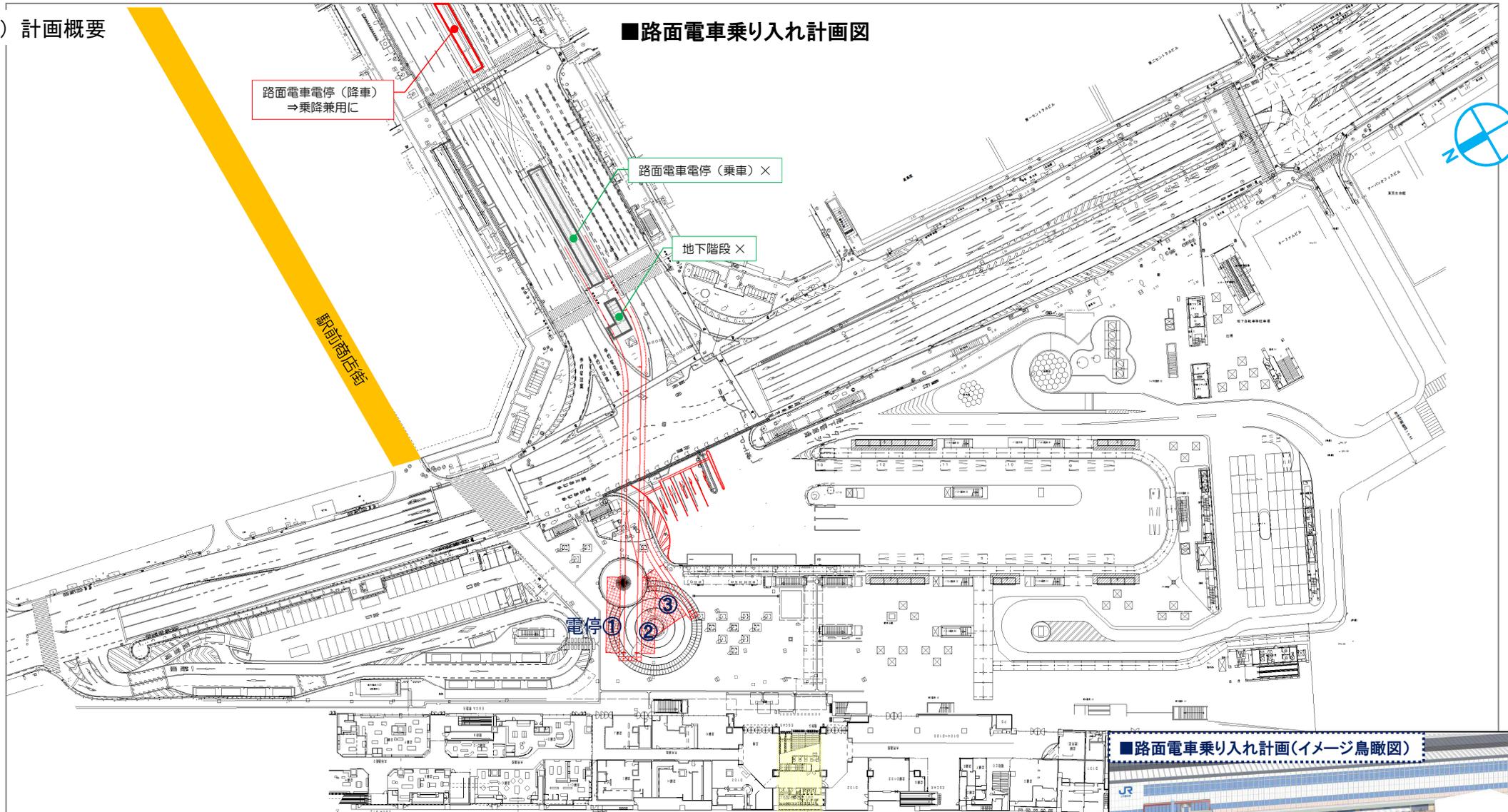
- ・観光バスが東口広場に進入できない。
⇒バスターミナルの拡張やバースの増設をしてほしい。

》タクシー協会からの要望

- ・タクシー乗り場、降り場が駅改札口から離れており、改札から遠い、改札までの経路がわかりにくいなど、利用者からクレームを言われる。
⇒西口のようにタクシーを2階に上げて、駅に近づけてほしい。
- ・駅前広場からの岡山城方面への退出経路が長く、利用料金が上がるため、利用者からたびたびクレームがある。
⇒市役所筋に直接出られるようにしてほしい。



1) 計画概要



■路面電車乗り入れ計画図

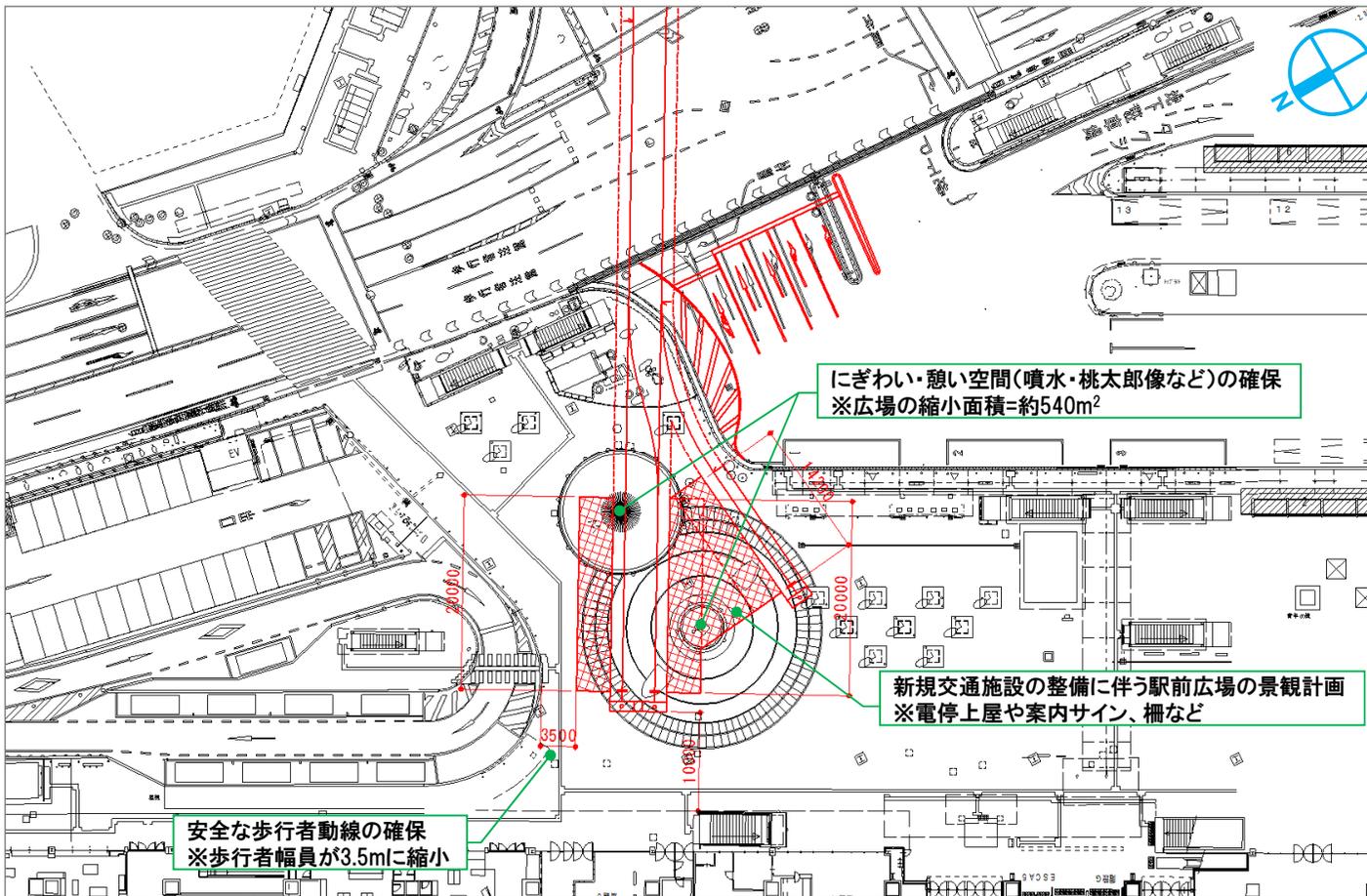
- 目的：公共交通の利便性向上と中心市街地の回遊性向上
- 計画案の概要：
 - ・既存乗車電停から、路面電車は駅前交差点を平面で通過し、噴水や吉備沃野のあるところに乗り入れる
 - ・駅前広場に岡山駅電停を新設する
 - ・既存の駅前乗車電停を廃止するが、既存の駅前降車電停をその他の電停と同様に乗降併用の電停とする
 - ・バスターミナルの出入口を南方向に移設する

東西連絡通路
↓
西口



2) 乗り入れに伴う駅前広場の影響と課題

対象	影響	課題
歩行空間	・歩行者動線の幅員が約3.5m(現況約10m)に縮小される。	・歩行者動線として必要な空間の確保を検討する必要がある。
にぎわい・憩い空間	・広場面積約540m ² が支障となる。 ・広場のシンボルである「桃太郎像」や「噴水」等が支障となる。	・現況機能の復旧を目的として、「にぎわい・憩い空間」として必要な空間の確保を検討する必要がある。
駅前広場全体	・電停及び電停上屋など、路面電車に係る施設が追加整備される。	・路面電車の乗り入れを契機に将来の岡山駅東口広場のあり方(景観)について検討する必要がある。



3) 乗り入れ計画案に対するご意見

- 全体として**
 - 総合的な街づくり構想を立てた上で、路面電車の乗り入れ検討を行うべきである。
 - 政令指定都市の玄関口であることから、路面電車の乗り入れが前提ではなく、丁寧に議論をすべきである。
- 広場利用**
 - 商店街への歩行者動線が狭くなるので、歩行者動線の改善検討が必要である。
 - 広場全体としての歩行者動線も改善すべきである。
 - 噴水等の憩いの場所がなくなるため、広場機能の確保が必要である。
 - イベントへの影響についても議論すべきである。

- バス利用**
 - 信号の短縮により、バス運行に影響があると考える。
 - 信号短縮による交差点の混雑度を把握するために、実証実験をすべきである。
- タクシー利用**
 - 交通渋滞が発生すると、利用料金が増となり、利用者の不満が増大する。
 - 乗り入れを機に、可能な限り駅に近い所で降りれるようにしてほしい。
 - 西口のように2階にタクシー乗降場があることが望ましい。
- 交差点**
 - 軌道によって、二輪車や自転車の転倒が懸念されるため安全対策が必要である。
 - 円滑な交通を形成するために横断歩道の代替施設として、歩道橋や地下道を設置する検討が必要。
 - 渋滞回避のために駅前交差点北からの進入において、左折専用レーン設置の検討が必要。

